

いながわ特派員報告



鎌屋 郁子



本田 さとみ

みんななで守ろう 私達の街

日生中央交番

松尾台、伏見台と川西市の丸山台、美山台を管轄しています。駅が近いということもあり事件事故が多く、8人の警察官が3交代で勤務しています。



警察官になって27年になります。交通事故は雨の降り始めに起こりやすいので気をつけてください。
小林文和警部補

パークタウン交番

白金・つつじが丘・猪名川・阿古谷の各小学校区と、原、内馬場が管轄です。3人で3交代勤務をしています。県道川西篠山線の交差点での事故が多いです。



住民の皆さんのご要望にお応えできるよう、全力でがんばっています。住民に喜んでもらうのが一番嬉しい時です。
三好邦明 巡査部長

木津駐在所

管轄は万善から柏原まで。交通事故は休日に特に多く、発生場所として、朽原橋、屏風岩周辺、杉生交差点があげられます。



自分自身も猪名川町民なので、より愛着を持って仕事をしています。住民の人達の協力に感謝しています。
石岡大輔 巡査部長

最近の事故・犯罪状況

交通事故処理は交番・駐在所で一番多い仕事です。町内での交通事故は今年1月から3月末で、すでに人身事故が47件、物損事故が188件(一部川西市を含む)発生しています。スピードの出し過ぎが大きな事故につながっています。

犯罪に関しては、自転車・バイクの盗難、空巢、自動販売機荒らしなどが目立ちます。空巢は白昼、ガラスを破って入ってくる事が多く、防犯のためには、1つのドアに2つのカギを付ける、塀を高くしない、生け垣を剪定する、不在にする時は近所に声をかける、など日頃からよく言われていることが一番効果的です。犯罪は年々増えていきますが、昨年の川西警察における検挙率は18.3%と低い数字です。日本は安全だという考えは、過去のものになりつつあり

川西警察署管内の刑法犯罪件数			
	発生件数	検挙数	検挙率
12年度	1,730件	518件	29.9%
13年度	2,645件	485件	18.3%

交通事故の件数は除く

皆さんは、ご近所の裏庭に怪しい人物を発見したらどうされますか。「それがたえ泥棒ではないのです。間違いであつてもいいのです。必ず警察に通報してください。」と心強い言葉を巡りさんからいただきました。取材を通じて、多くの人に守られている安心感を抱くと共に、地域の安全を自分達で守らなければという責任を感じました。住民同士のふれあいを思いやりが、安全な町をつくる原点です。

【いながわ特派員】

猪名川町には日生中央とパークタウンの2カ所に交番があり、北部の木津地区には駐在所が設置されています。交番には複数の警察官が交代で24時間勤務にあたっています。また、駐在所には警察官が家族と共に居住し、駐在所勤務で管内の治安維持に勤めています。交番・駐在所の警察官

交番・駐在所の仕事

人口が増え新しい道ができて、猪名川町はどんどん便利になってきています。でもよいことばかりではありません。交通事故や犯罪も年々増えてきています。今回は、私たち住民の生活を24時間守ってくれる交番と駐在所のお巡りさんにお話を伺いました。また、2年前に開設された生活安全交流センターで活動されている、生活安全アドバイザーの宮川勝芳さんをご紹介します。

は次の仕事をしています。在所勤務(交番内の勤務) 巡回連絡(各家庭を訪問)

立番(主要な交差点などに立つての交通監視)

お巡りさんに守られて安全に横断(楊津小学校前)



以上4つの仕事の他に、事件、事故が発生すればすぐに対応します。2つの交番には警察官の他に常駐の交番相談員がいます。警察官が留守の時の電話応対、道案内、自転車・バイクの盗難などに対する簡単な事務処理をしています。現在は昼間のみ勤務ですが、夜間の勤務も検討中とのことです。

街は一人では守れない 木津駐在所の石岡巡査部長

道案内をするお巡りさん



楊津小学校へ通う子ども達のは、楊津小学校と大島小学校の通学途上における危険力所で、交互に児童保護立番を実施されています。私達は、その様子を見学させていただきました。 楊津小学校へ通う子ども達のほとんどは、県道川西篠山線を横断しなければなりません。道路の横には赤灯をつけたパトカーが止まっていて、子ども達は石岡巡査部長と校長先生の誘導のもと、安全に横断していきます。PTAのお母さんも子ども達と登校されています。「自分一人では街は守れない」との石岡巡査部長の言葉とあり、地域の人々がみんな子ども達を守っているのだと実感しました。 朝取材をしていると、スピードを出して県道を走る車がとても多いと改めて感じました。11年前、楊津小学校へ登校中の児童の列に車が突っ込むという痛ましい事故が発生しています。地域の人達のみならず、ドライバーもマナー

住民のパートナーとして

平成12年9月に地域住民と警察・防犯委員が交流し、活動できる場として、生活安全交流センター(パークタウン交番の隣り)が開設されました。センターに



黄色いステッカーを貼った車で、パトロールをする宮川さん

は生活安全アドバイザーの宮川勝芳さんが勤務しています。元警察官の宮川さんは現職時代から、犯罪や事故が増える背景のひとつに住民同士のコミュニケーション不足や、警察、行政との交流不足があるのではないかと感じていました。犯罪、事故、災害を未然に防止するため、宮川さんは町内をパトロールしたり、住民の相談に応じて適切なアドバイスを行っています。警察に行くべきか、役場に相談すべきか迷うようなとき、迅速に対応してもらえます。宮川さんに相談したい人は、役場の生活環境課(66-8712)へ問い合わせください。

また、宮川さんは長年の趣味であるうどん作りを通し、地域の人々にコミュニケーションの場を提供しています。うどん作りを通して、子どもから大人まで、人の輪が広がっていくといいですね。

編集後記

